



真冬日のもとで 寒さを吹き飛ばす熱戦

10メートル前後の地吹雪が舞い、日中の最高気温が零下5.8度という厳しい真冬日のもとで、20回目を迎えた町民スキー大会が2月7日町営薬師山スキー場で開催されました。

小学校リレーでは、寒さを吹き飛ばす熱戦が展開。抜きつ抜かれつの力走に、応援団は声をからして「最後の登りだ、がんばれー」「追いこせー」と声援を送っていました。 (写真は小学校男子リレー第二走者)

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

1月31日現在	(前月比)
総人口 25,467人	(30人減)
男 12,438人	(23人減)
女 13,029人	(7人減)
世帯数 7,207世帯	(1世帯増)

地域のコミュニティーづくりの「核」

沢口林業センター急ピッチ

5月30日の完成予定



地域のコミュニティーづくりの「核」として新林業構造改善実験事業で建設されている「沢口林業センター」は、五月三十日の完成をめざして、工事が急ピッチで進められ、二月二十日現在の進捗度は七〇%となっています。

昨年の七月から、脇神字神下太出表（脇神）の敷地五千四百五十四・〇五平方メートルに、二カ年の継続事業で建設している沢口林業センター工事は、順調に進み、二月二十日現在で七〇%の進捗率となっています。

同センターは鉄骨および平家建て、総面積は六百三十六・八〇八平方メートル。木造部分は事務室が二十九・八二二平方メートル、三十人が共同

学習できる研修室が四十坪・七一七平方メートル、和室二間つづきの研修室が七十四・五二九平方メートル、茶室のできる教養室が九・九三七平方メートル、林業製品や資料の展示室が三十九・七四九平方メートル、調理室が三十四・七八平方メートル。

鉄骨造部分は、軽スポーツやレクリエーションのできる健康増進室（小体育館）で二百四十八・四二平方メートルとなっています。

工事費は、総額で六千五百九十八万円。建設工事は五千二百八十万円、給排水衛生設備工事七百三十万円。ほかに内部備品は約二百八十万円を予定しており、工事期限は五月三十日までです。

同センターは、新林業構造改善実験事業で建てられています。町の林業経営の技術研修や、後継者育成の場として、また地域の体力づくり、コミュニティーづくりの中心施設として広く活用されることになり、完成が待たれています。



たのすま
工事中

（農業災害道路復旧工事）
▼工事場所〓綴子字合地地内 ▼請負額〓五十万円 ▼請負者〓丸秋建設・近藤秋男

▼工事場所〓七日市字大袋下地内 ▼請負額〓百十八万円 ▼請負者〓朝日建設・小林正蔵
（農業災害水路復旧工事）

▼工事場所〓綴子字焼飯戸地内 ▼請負額〓三十一万五千元 ▼請負者〓畠山組・畠山堅逸

▼工事場所〓坊沢字坊沢深沢地内 ▼請負額〓三十四万五千元 ▼請負者〓宮野建設・宮野岩男

▼工事場所〓綴子字田子ヶ沢A・B（合併施行） ▼請負額〓百六十万円 ▼請負者〓板倉建設・板倉七郎

▼工事場所〓黒沢字へい田沢地内 ▼請負額〓五十八万七千元 ▼請負者〓淡路重機・淡路寿治

▼工事場所〓前山字前山大塚地内 ▼請負額〓三十三万円 ▼請負者〓松橋建設・松橋政男

（農業災害頭首工復旧工事）
▼工事場所〓栄字鳥越地内 ▼請負額〓百二十万円 ▼請負者〓長岐建設・長岐六郎

坊沢地区の「町長と語る会」は、一月二十四日午後一時から坊沢公民館で行われました。

町長と語る会

坊沢地区

区から約五十人が参加。住民みよい地域づくりのための要望、意見が出されました。出された主な要望、意見は、
▽坊沢農免道路の改良舗装の早期完成
▽事業主体、工法について

て検討したい。▽地域内町道の改良舗装〓全町的に要望が多いので、検討したい。▽国道七号線歩道の除雪〓建設省に連絡する。▽米代川の築堤改修の促進〓綴子川築堤後考えた。▽旧緑ヶ丘小学校跡に記念碑を建立したので助成してほしい〓補助したい……などと

町長 日誌

2月1日～2月15日

- 1～3日 農林水産省、東北農政局に対する陳情〓東京都、仙台市
- 4日 鷹巣阿仁広域組合管理者、副管理者会議
- 6日 北秋田町村会
- 町長と語る会〓坊沢自治会
- 8日 市町村農業構造改善対策協議会農政講演会〓秋田市
- 9日 秋田県消防補償等組合議会〓秋田市
- 10日 むし歯のない子の表彰式
- 10～11日 新年度予算査定
- 12日 鷹巣地区交通安全協会通常総会
- 14日 鷹巣町長杯中学校選抜柔道大会

三歳児「むし歯のない子」

よい子五十人が表彰

五十六年度三歳児「むし歯のない子」の表彰式が、二月十日午後一時三十分から中央公民館で行われ、男二十九人、女二十一人、計五十人が表彰され、出川町長から賞状と賞品が贈られました。

今回の対象者は、五十三年一月

一日から十二月三十一日まで出生した三百三十一人。該当者の一五・一％が表彰を受けました。

表彰式で、審査に当たった佐藤正孝歯科医師は、「町ではフッ素の子防処置を講じているので、他に比べむし歯のない子が年々ふえている。これからも食後の歯みがき、バランスのとれた栄養でカルシウム、ミネラル分を吸収して、将来も健康な歯を維持してほしい」とあいさつ。出川町長は、「むし歯のない子に育てるのは、親の努力が必要。子供の表彰すなわちご両親の表彰でもある」と述べました。

最後に、受彰者の母親を代表して高橋しげ子さんが、歯をみがきおやつを与えすぎないように、規則正しい生活を身につけさせます」と謝辞を述べ式を終わりました。

受彰者は次のとおりです。

高橋 将志(昭義 二男) 綴子上町
谷内田 亮(英樹 二男) 南鷹巣
奈良重樹子(正人 長女) 住吉町
藤田 美春(忠雄 長女) 深閑
堀江 周也(敏広 長男) 掛泥
島山 将之(儀蔵 長男) 住吉町
中嶋 公一(照秋 長男) 宮前町
児玉 昌仁(昌明 長男) 舟見町
渡辺 誉(勲 長男) 材木町
倉内 英行(肇 長男) 高村岱

佐藤千恵香(春夫 長女) 前野
佐藤 広野(恒夫 長男) 掛泥
津谷 武輝(金雄 二男) 大野尻
近藤さつき(良信 長女) 小森
佐々木陽子(一郎 長女) 掛泥
佐藤麻由子(浩信 二女) 大堤
高橋 綾子(民雄 長女) 綴子下町
保科 鉄兵(明 長男) 掛泥
鈴木 忍(明雄 長女) 材木町
三国 幸徳(彰一郎 長女) 材木町
齋藤 渡(均 長男) 南鷹巣
左近士哲平(通良 長男) 田中
工藤 徳人(トク 長男) 松葉町
梅井 悦子(清美 長女) 西陣場岱
佐藤 貴央(博重 二男) 南鷹巣
児玉 悠(純 長男) 掛泥
島山 潤栄(博樹 長男) 舟場
齋藤 雅志(忠夫 長男) 舟場
渡辺 傑(優 長女) 旭町
志村 紗緒(統 長女) 宮前町
深沢 奈緒(修 長女) 掛泥
栗生沢奈保子(節 長女) 伊勢町
内山 公貴(正博 長男) 向黒沢
成田 克憲(克己 長男) 舟見町
碓谷 努(清 長男) 摩当
成見 愛(正 二女) 舟見町
島内麻妃子(道彦 長女) 根本屋敷
近藤 真澄(義秋 長女) 東横町
成田 剛(健二 二男) 高村岱
花下 浩之(信夫 二男) 南鷹巣
山田 敦彦(敦 長男) 堂ヶ岱
岩本 真明(安雄 二男) 岩脇
藤原 由香(久雄 長女) 堂ヶ岱
成田百合子(鐵雄 二女) 吉野
佐藤 正文(政己 長男) 住吉町
神成なりみ(由正 長女) 元町
久留島利津子(正夫 二女) 東横町
山田 隼人(豊 長男) 南鷹巣
津谷 知広(豊 二男) 羽立
三沢 明子(義信 二女) 田中



かしこい消費者に

二月十七日午後一時から中央公民館で、かしこい消費者になるために、消費者の会会員が約百人出席して、「生活の安全性について」の講演会が開催されました。

講師は、国民生活センター危害情報室調査役・水野和男氏で、センターに寄せられた▽商品の欠陥により乳幼児の事故が多発している。たとえば乳母車の車輪がはずれてケガしたり、こわれたキヤラメルの景品をのみこんで窒息死した▽電子カーペットが部分的に燃えるなど、不良品が一部にあり現在回収中。カーペットを使用している方は、もう一度確かめて…などの実例と追跡調査の状況が出されました。

また、センターに持ちこまれる苦情の内容は、化粧品をトップに、

②健康食品 ③自動車 ④おもちゃ ⑤魔法ビン…となっており、センターの指定を受けている病院の報告は、①自転車 ②階段からの落下 ③化粧品…による事故の順になっています。

どちらにも共通しているのは、化粧品の香料が原因と思われる皮膚障害、健康食品による中毒症状で、特に薬の要素があたかもあるように宣伝している健康食品は問題があると指摘していました。

さらに、かしこい消費者となるために注意することとして、▽商品の選び方は、①家の広さを考え、②操作が簡単な物を選び、③安全マークを目安にし過信はしない ④便利さだけで判断しない ⑤説明書がついていて理解できること ▽商品の使い方は、商品の構造等を理解して、家族にもそのことを伝達する。また乳幼児、老人、病人が使用する場合は家族の注意が必要。

最後に、不良商品を市場に出回らせないために、自分だけで解決したり、泣き寝入りせずに、生活センターに苦情をどしどしお寄せくださいと述べました。(秋田県の場合 三三・四二四八)



SGとは、Safety Goods (安全な製品) の略号です。

SGマークが付された製品の欠陥により、万一事故が起きた場合には、最高二十万円を限度として損害賠償金が支払われます。

第二十回町民スキー大会

自熱した好レース展開

小学校Rは鷹巢 (男) 坊沢 (女) が優勝



第二十回町民スキー大会は、二月七日町営業師山スキー場に各地区から選手、役員、応援団などおよそ二千人余りが参加して行われました。

当日は、日中の最高気温が零下五・八度と底冷えのする真冬日で、終日十時前後の地吹雪が舞う悪天候でしたが、選手は終始健闘しました。

とくに、小学校は各種目とも実力が伯仲し、激しいレース展開で観衆から盛んな声援がおくられていました。

また、距離では中島民利、出川吉弘、鈴木一弘各選手、回転では

工藤文枝、長崎有夏、長谷川正一、成田金也各選手が、昨年に続いて連勝しました。各種目の三位までの入賞者は次のとおりです。

(回 転)

▼四年男子①中島伸行(沢口) 35秒9 ②沢田直彦(綴子) ③柴田英和(沢口)

▼四年女子①本城谷尚子(沢口) 39秒81 ②佐藤敦子(坊沢) ③松岡恵理子(鷹巢)

▼五年男子①長崎馨(坊沢) 34秒58 ②藤島淳一(綴子) ③佐藤浩(沢口)

▼五年女子①工藤文枝(綴子)

36秒24 ②成田香織(七座) ③大川やす子(坊沢)

▼六年男子①三沢寿(綴子) 36秒53 ②高橋道幸(綴子) ③関口雅人(鷹巢)

▼六年女子①三沢真子(綴子) 37秒69 ②野呂真生子(七座) ③佐藤真由美(綴子)

▼中学男子①成田智彦(七座) 46秒0 ②桜庭卓也(坊沢) ③大関敏彦(鷹巢)

▼中学女子①長崎有夏(坊沢) 40秒72 ②野崎真美(鷹巢) ③鈴木奈緒美(栄)

▼青年男子①佐藤幸弘(綴子) 41秒45 ②三沢文紀(綴子) ③佐藤弘幸(坊沢)

▼成年前期①工藤勝美(鷹巢) 46秒77 ②五十嵐経(綴子) ③篠内室英(七座)

▼成年後期①長谷川正一(栄) 40秒78 ②篠内春光(綴子) ③畠山俊逸(沢口)

▼壮年前期①成田洋一(七座) 36秒52 ②篠内勇蔵(鷹巢) ③金沢正男(沢口)

▼壮年中期①成田金正(七座) 36秒43 ②佐々木安雄(七座)

③三沢文治郎(綴子)

▼壮年後期①成田金也(七座) 37秒49 ②野呂久雄(七座) ③三沢広夫(綴子)

▼一般女子前期①藤島千恵子(綴子) 40秒50 ②三上隆子(七座) ③武石芳子(栄)

▼一般女子後期①佐藤クニ(坊沢) 38秒38 ②高橋久美子(鷹巢) ③小塚悦子(鷹巢)

▼ママさん①奈良久枝(鷹巢) 22秒11 ②花田幸子(鷹巢) ③北林光子(鷹巢)

(距離) ▼四年男子①長岐修(七日市) 4分55秒 ②神成知広(鷹巢) ③飯村徳人(鷹巢)、中嶋洋紀(沢口)

▼四年女子①高橋直子(鷹巢) 5分7秒 ②伊藤裕美(鷹巢) ③吉岡綾子(鷹巢) 佐藤洋子(綴子)

▼五年男子①津谷盛樹(坊沢) 9分9秒 ②豊村英之(鷹巢) ③小林淳(鷹巢)

▼五年女子①近藤真祈子(沢口) 10分27秒 ②八代美和(鷹巢) ③前田朋恵(沢口)

▼六年男子①浪岡重樹(鷹巢) 14分27秒 ②長崎登(坊沢) ③正田敏幸(栄)

▼六年女子①成田鈴子(鷹巢) 10分45秒 ②津谷章子(坊沢) ③佐藤由美子(坊沢)

▼中学男子①佐藤源靖(坊沢) 8分42秒 ②中島勝(沢口) ③尾山直也(栄)

▼青年(高校)男子①熊谷芳広(七座) 9分25秒 ②高橋富美雄(綴子) ③松尾陽悦(栄)

▼成年前期①長岐正人(七日市) 10分12秒 ②奈良一夫(沢口) ③熊谷初男(七座)

▼成年後期①中島民利(沢口) 10分32秒 ②福原正己(栄) ③石川裕悦(鷹巢)

▼壮年前期①出川吉弘(綴子) 10分39秒 ②篠内順一(七座) ③近藤慶悦(沢口)

▼壮年中期①鈴木一弘(綴子) 10分49秒 ②布田孝造(七日市) ③長岐竜一(七日市)

▼壮年後期①佐藤福治(七日市) 12分10秒 ②藤谷重勝(七座) ③高橋忠義(鷹巢)

▼小学生女子リレー①坊沢(高橋睦美、佐藤由美子、津谷章子) 33分18秒 ②鷹巢 ③沢口

▼小学生男子リレー①鷹巢(浪岡重樹、成田敦、田所義之、相馬純) 40分21秒 ②坊沢 ③栄

▼成年リレー①七座14分58秒 ②七日市 ③栄

▼壮年リレー①七日市15分43秒 ②沢口A ③綴子





青年会で町行政を語る会

地域活動センターを

意欲的な要望、意見が続出

町連合青年会の「町行政を語る会」は、二月十七日午後六時五十分から役場三階大会議室で開かれ、およそ四時間にわたって、町当局と町行政全般について熱心な話し合いが行われた。

「町行政を語る会」は、町連合青年会では政治学習を通して、青年の意見を町政に反映させようと、昭和四十一年から開いているもので、今回で通算十五回目となります。

語る会には、青年会から三十人、町から三役・課長など十七人が出席して開催。はじめに出川喜英・町連合青年会長が「青年の要望が町政に反映され感謝します。今日的には行政改革で町でも厳しい行政財政と思うが、町民の要望がかなえられるよう努力してほしい」とあいさつ。

続いて出川町長は「青年が行政に期待し、要望を集約するよい機会だ。学習を深め町行政を理解のうえ協力を」と述べ、町政全般について具体的な報告が行われました。

このあと金子賢次町連副会長の司会で話し合いに入り斎藤一志町連、松尾陽悦(栄)長、長崎正人、布田久人(七日市)、畠山秀男、近藤実(沢口)、藤田賢一郎(七座)、村上幸儀、三沢茂信、三沢博隆(綴子)の各氏が代表して、生活に密着し

た問題を取りあげ二十九項目にわたって質問をしました。

最後に長崎中央公民館長は「自分の住む町、地域をどう礎にいくかを考え、将来展望に立って自分自身を鍛えるため、町行政を知るよい機会だったと思う」と講評しました。

話し合われた主な内容は次のとおりです。

鷹小の跡地利用は

▽地域活動センターの取り組みについて＝敷地の提供、運営は広域、設置市町村でまかなわなければならない。B型(二階建四億円位)の建設を五十八年度以降予定しているの、広域で場所について検討したい。

▽鷹巣小学校移転後の跡地利用について＝現在地の七〇％位が借地であるが、今後も社会教育、文化的なものに利用したいので、継続して土地は借用したい。

▽前山地区の基盤整備を早く実施してほしい＝地区地権者の合意が先決だ。町では対応できる体制にある。

▽町内に駐車場がほしい＝商店街などで駐車場をつくっている。この種の整備を助長したい。有料駐車場は利用率があまりよくないようだが、もっと活用すべき。

印鑑証明をカード式に

▽印鑑証明を簡単に＝来年度から登録カードを発行し、事務のスピード化を計りたい。ただし、カードの保管は厳重にしてください。

▽公民館の利用料が高い＝結婚式の私行為であるので、他の利用者の均衡を取るためにも同一料金徴収が平等の原則だ。

▽役場職員の採用基準について＝上級、初級とも全県統一の一次試験を受け、合格者に対して町で二次試験(作文、面接、体力テスト)を行い、成績良好で適格者を定数

内で採用する。

▽七日市地区にスキー場を設置してはどうか＝スロープが2、3、ということなので、現地を調査したい。

▽一〇五号線バイパスと県道比内小森線交差点に信号機を＝県の五カ年計画で設置が予定されている▽一般会計の借入金が多いのではないかと学校、道路、公園等整備するため地方債を発行しているが現在高は二十五億位で、公債比率は六・三％となっているが、そのうち三七％は交付税で還元される。全国類似団体よりはるかに低い。

＝税金の申告日程表＝

日 時	会 場	申 告 時 間	
		午前 9 時～正午	午後 1 時～午後 4 時
3. 1 月	役場大会議室	湯車・川口・小ケ田	
2 火	舟 場 会 館	舟場	
	堂ヶ岱会館	堂ヶ岱	
3 水	沢 口 農 協	藤株・小摩当	脇神・上野
	役場大会議室	譲渡・山林・贈与営業申告相談(税務署からの通知者)	
4 木	小 森 会 館	小森	
5 金	三ノ渡会館	上舟木・明利又	松沢・黒森・三ノ渡
	役場大会議室	営業業者申告相談(税理士会)(税務署からの通知者)	
6 土	葛黒林業センター	大畑・与助岱・門ヶ沢・葛黒	
8 月	七日市基幹	根木屋敷・妹尾館・中畑	七日市組～6組
9 火	集落センター	品類・深沢・吉ヶ沢・下舟木	岩脇・横瀬・吉野
11 木			
12 金	役場大会議室	日程表により申告できない人	
13 土			
15 月			

幻想的な伝統行事

葛黒火祭りかまくら



二百二十年前から欠かさず続けられている。小正月の伝統的な行事「葛黒の火祭りかまくら」は、二月七日午後六時三十分から地区民総出で行われました。

当日は、朝から準備にとりかかり、山から樹齢二十五年度、高さ二十メートルのクリの木を切り出し、葛黒集落裏手の田圃を踏みかためた広場の中央にワラ、ササ、マメガラなどをゆわえつけて立てられました。

日が暮れ、夕食を終えると、お供え物を手に手に家族そろって会場に集合。中央近くにもうけられたかまくらに祭っている火の神（不



動尊）をお参りし、各家で造ったミニかまくらに、お供え物をし、五穀豊穡、無病息災、無火災を祈願していました。

木にゆわえられたワラに火が放たれると、炎は凍りつく寒い夜空に高く登り、火の粉を巻きあげる。火祭りが頂点に達すると、集まった人々は「かまぐらの権五郎」と大声で叫び、火遊びのすきな

また、火つけの権五郎の悪霊が子供たちに、乗り移らないよう厄払いをしていました。

太田・長谷川家で

「天保飢饉見聞実録」を発刊

天保飢饉見聞実録



がたい異変のようすや、悲惨なありさまが克明に描かれています。

また「年代豊凶録」は、近世初期から幕末に至る二百六十年間の稲作の豊凶、および農業気象、さらに物価の推移などが、代々の長谷川家の人々によって綴られた継続記録になっていて、得がたい資料となっています。

そのほか、幕末のころ太田新田村で催された花火大会、籠山越え山道のガンド（強盗）、早口の贗金づくりなど、巷で拾ったおもしろい話も掲載されています。定価は千五百円、町内の書店で販売しています。

今日から役場

執務時間を変更

昨年の十一月一日から冬期間の

時間短縮を実施していましたが、三月一日から平常どおりになりますので、お知らせします。

（役場）

▽平日 午前八時三十分から午後五時十五分まで

▽土曜日 午前八時三十分から午後零時三十分まで

（公民館）

▽平日 午前八時三十分から午後十時まで

▽日曜・祝祭日 午前八時三十分から午後五時三十分まで

※公民館は休館でも職員は勤務しております。

（図書館）

▽平日 午前八時三十分から午後六時まで

▽日曜日 午前八時三十分から午後五時まで

秋田総合高等職業訓練校で生徒募集

秋田総合高等職業訓練校で生徒募集

秋田総合高等職業訓練校（大館市）では、五十七年度の職業訓練生を次の要領で募集しています。

募集科目は、金属工芸科、機械科、自動車整備科、ブロック建築科、木工科となっており、訓練期間はいずれも一年。

転職、転業、その他就職を希望する者で、学歴、年齢、性別は問いません。三十歳以下の人は、二年間の訓練が受けられます。

募集期間は、五月二十日まで。

申し込みは、当校（電話 大館四二一五七〇〇）または公共職業安定所へ。

たばこ一本で百七十万円

消防白書より(火災による損害額)

昭和五十五年中に起こった火災のうち、損害額のいちばん大きいのはたばこによるもの。たばこによる火災一件当たり、約百七十万円相当の財産が灰になった勘定になります。

第二位がストーブによる火災。損害総額ではたばこに「一位」の座を譲っているものの、一件当たりの損害額では断然トップ。一件当たり約三百八十万円相当の財産が「燃料」にされてしまいました。

昭和五十五年中には、全国で一時間にはば七件の割合で火災が発生していますが、これを出火原因別に見ると、たばこ、火あそび、たき火の順で多く、ストーブは七番目です。ところが、わたしたちの財産を灰にしてしまう「効率」という点では、ストーブは他を圧倒していると言えます。

これは、ストーブが家財道具の集中した部屋で使われるためといえますが、最大の原因は火災が起こった場合の炎が大きく、初期消火が難しいという点にあります。ストーブはわたしたちに「ぬくもり」を与えると同時に、財産や生命を奪うこととなる危険性も秘めています。家や家財道具ならあきらめもつきますが、命を燃やされてはたまりません。ストーブには、くれぐれもご注意を——。



北へ帰る白鳥が、米代川の鷹巣橋たもとで旅の疲れをいやし、のんびりと羽根を休めていました。(2月18日撮影)

ストーブは怖い——とはいっても、正しく使いさえすれば、ただの暖房器具。使うときには次の点に気をつけましょう。

- ▽周囲は常に整頓し、燃えやすいものを置かない。
- ▽部屋の出入口や通路などで使わない。
- ▽近くに洗濯物を干したりしない。
- ▽ベンジン、ヘアスプレー、など揮発性のものをそばで使わない。
- ▽火のついたまま持ち運ばない。
- ▽外出するとき、寝るときは必ず火を消す。

さらにストーブの種類に応じて、次の注意も必要です。

- ▽石油ストーブ：燃料の補給は必ず火を消してからにする
- ▽電気ストーブ：使わないときはコンセントを抜く
- ▽ガスストーブ：ゴムホースには耐圧ホースを用いるとともに、なるべく短いもので済むように、できるだけ元栓の近くで使う。また、ホースのひび割れに注意する。

消化器の正しい使い方

また、ストーブ以外で火災が発生したときは、消火器を使った初期消火がなによりです。家族全員が消火器の正しい使い方を覚えましょう。

町税完納強調月間

3月1日～3月31日



納税も
家計に入れて
よい暮らし

＝57年1月から＝

食糧管理制度が改正されました

◇米穀通帳制が廃止されましたので、米穀通帳なしでお米が買えるようになりました。

◇これまで規制されていた「縁故米、贈答米」が認められました。

米の無償譲渡の道が開かれることになりましたので、郷里に帰った時に持ち帰る、いわゆる縁故米やお中元、お歳暮などとして贈る「贈答米」などについても規制が解かれることになりました。

スポーツ事故に 対する傷害保険



スポーツ事故に対する保険には、事故の責任の有無に関係なく、傷害の事実に対して給付されるものと、スポーツ活動中もしくはその指導中第三者の被った損害や、スポーツ施設の設置管理上の手落ちによる損害に対して給付されるものがあります。

主な保険の例としては次のようなものがあります。

●スポーツ安全協会傷害保険

スポーツ安全協会は、スポーツや社会教育の活動における傷害事故の補償を行い安心して活動できるようにするため、民間の保険会社と契約して傷害保険の事業を行っています。

この保険は十人以上のグループが団体で保険料を払って加入し、

加入団体の管理下のスポーツ活動中の事故と、往復途上の事故による傷害の治療費と、その傷害に基づく後遺障害および死亡に対して保険金を支払っています。

▽保険料(一人年間 六百八十円 小中学生は半額)

▽保険金(通院一日千円、入院一日千五百円、死亡千二百万円)

●スポーツ指導者賠償責任保険

日本体育協会公認のトレーナー、スポーツ指導員、スポ少指導者などが加入でき、スポーツ指導中に指導者の過失で第三者が被った損害について、指導者が個人として法律上の賠償責任を負担した場合保険金が支払われます。

▽保険料(一人年間 六百元)

▽保険金限度額(一事故 三千万円)

●全国町村会住民スポーツ災害賠償補償保険

市町村所有のスポーツ施設の設置管理上の手落ちや市町村主催のスポーツ行事、社会体育の遂行上の手落ちによる損害賠償責任を負担する場合の「スポーツ賠償責任保険」と、市町村主催のスポーツ行事や、スポーツ活動に参加中の市町村民が、身体障害を被った場合に負担する補償金を補てんする「スポーツ災害賠償保険」を組み合せた保険です。

▽保険金

入院(一万円～四万円)

死亡(五百万円まで)

このほか「社会体育施設保険」「子ども会関係の保険」「レクリエーション災害保険」などがあります。

九人制バレーボール 総合選手権大会

鷹巣町バレーボール協会主催の九人制バレーボール総合選手権大会が、三月十一日～十四日の四日間、鷹巣体育館で開催されます。

チーム編成は男子の部・女子の部ともに、▽一部▽過去二年間町で優勝・準優勝チームまたは中・高大学生を含むチーム ▽二部▽一部以外全てのチーム：となつています。

出場申し込みは三月五日まで、鷹巣体育館または鷹巣町役場・高橋守へ参加料千円を添えて。

ふるさと 人物伝 ②

長崎 長崎

一八八七—一九三九



息子の九平さんと一緒にのりヨさん(中央)

「孝婦の鑑(かがみ)」として昭和八年に秋田県知事から表彰された長崎りヨさんは、明治二十年十一月二十日、沢口村小森・笹原福松の三女に生まれ、明治三十六年、七日市村・長崎清太郎長男、健太郎に嫁いだ。

夫健太郎は頑丈な体で、近隣の草相撲で活躍していたが、明治三十五年、二十二歳の夏、相撲で肩と膝の骨を折った。すでに徴兵検査に合格し、快方に向っていたので入営したが、それがもとで数カ月で帰され、翌年りヨと結婚したのである。

いろいろ治療してみたが右肩と脚が意の如くならず農作業は半人前の仕事でもできなかった。

両親はすでに老境にあり、小作地を含めて水田百二十三a、畑二十aの耕作と家事一切がりヨの肩にかかっていた。

大正十一年、彼女が二男三女の母の時、姑サツが脳溢血で倒れ、全身身動きできない重態となった。六十八歳のしゅうと、半病人の夫、三人の義弟、五人の子をかかえ、彼女は毎朝三時に起き、病人の介抱、汚物の洗たくをすませてから朝食の仕度にかかるのであった。日中は人一倍働き、夜はおそくまでの家業を終え、彼女は姑の枕もとに坐って、いろいろ世間話をして慰める毎日であった。

ところが、大正十三年、しゅうとの清太郎が村の道路工事で岩石に脚をはさまれ、仕事のできない不具者となった。しかも四女ワキはさきに脳膜炎を患い全くの痴人であった。

泣くに泣かれぬ苦境の中にありながら、彼女は愚痴ひとつこぼさず、他人が様子を聞くと、「相変らずで」と、笑みを含んで答えるのであった。

昭和五年十一月七日、姑サツが臨終の時、親戚の一人が「誰か会いたい人はいないか」と聞くと「りヨがそばにいるか、りヨさえそばにいれば誰もいらぬ」といつて静かに息を引きとった。彼女は昭和十四年亡くなり、息子の九平さんが現在の戸主である。(資料「小猿部に光る」)

中央公民館長 長崎 久



職場卓球で信組が2連勝

第2回職場対抗卓球大会は2月8日から13日まで4日間、鷹巣体育館で行われました。

試合は午後7時から2時間。参加13チームを2ブロックに分けリーグ戦、決勝トーナメントが行われ、ラリーの応酬に観衆から盛んな拍手が送られていました。試合の結果は、1位北秋信信用組合2位職業訓練校3位全通A、役場A

(信組は2連勝)

二年続きの冷害を克服し水田利用再編対策の定着をめざして、鷹巣農業改良普及事業協議会では、3回目の農業者実績研究発表大会を、2月18日中央公民館で開催しました。大会には、鷹巣・阿仁部から約100人が出席。「冷害克服」や「転作共同研究」などの事例発表が行われました。参加者は、経験交流を生かし明るく豊かな農村づくりをしようと誓い合っていました。

農村づくりで経験交流



安全運転で事故を絶滅

鷹巣地区交通安全協会(会長・津谷栄七)では、第30回通常総会を2月12日午後1時から中央公民館で開催しました。総会には、来賓、役員、支部の代表約250人が参加。優良運転者265人と、功労団体9、個人10人を表彰しました。同協会は、会員数約8千人で町民3人に1人が免許を取得していることから、安全運転で交通事故を絶滅しようと誓っていました。



1月25日から2月15日まで、店主、従業員ら50人が出席し産業会館で「簿記講習会」が開かれました。

講習会は、毎週月、水、金曜日午後6時30分から2時間。福原茂春氏(大館商教諭)が「初歩から決算まで」を指導。商店や会社の経理担当はソロバン片手に悪戦苦闘。夫婦や親子、60歳以上の受講者も目につき熱心に勉強していました。

ソロバン片手に簿記講習



公民館のくふく

学習活動のご相談は ブルーの窓口で



“〇〇グループに入りたいけど
どうしたらよいでしょうか”
“△△を勉強したいが、適当な

先生はいないでしょうか”

余暇を生かすために、少しでも
うるおいのある生活を求めて、い
ろいろな人が相談に来ます。そん
な人達のために、公民館内に生涯
教育奨励室(ブルーの窓口)があり
ます。現在、担当者の佐藤憲子さ
ん(25)が、笑顔で相談活動を持
つています。家庭教育相談員、公
民館職員等と連絡をとりながら、
少しでも相談者のお役に立とうと
はりきっていますので、どんな小
さなことも、気軽にご相談にい
らして下さい。

こんな勉強の方法も

奨励室では、学習相談とあわせ
て、「すこやか通信」を編集発行
しています。これは、奨励員のご

学級紹介

鷹舟婦人学級

舟見町は、数年前から、戸数の
増加が目立っています。

しかし、新しい人が増えれば、
どこにでも見られる現象ですが、
住む人達が、明るくにこやかに接
拶ができなくなりました。

そこで私たちは、主婦の和と教養
を深めることを目的に、昨年の十
月に、鷹舟婦人学級を誕生させま

した。誰れもが参加でき、無理の
ない学級にしようと、現在五十一
人の方々登録しています。年度
半ばからの活動ですが、今までやっ
てきた内容を二・三紹介します。
婦人の健康、大豆の使い道、そ
れに正月用生花などを学習してき
ました。学習の前後には、家庭の
嫁姑の問題、子どもや孫の話が
中心で、その事もまた大変意義の
ある勉強会になります。

現在、小さなお宮を集会所がわ
りに使っていますが、各種団体も
含めて集会所の無いのが悩みの種

協力を得て、テレビ「お母さんの
勉強室」を要約し、各家庭(幼・
保・小学生をもつ家庭)に配布し
ています。テレビを見られなかつ
た時の、家庭教育資料として役立
てて欲しいと思います。

また、同じ番組をVTR(録画)
にとり、必要に応じて貸出しもし
ています。(無料)

学校、職場、PTAなどで、好
きな時間帯で学習できます。
貸出しできるファイルム

*今、子供に必要なこと

*家の金銭教育 *わが家の役割
分担 *母と子のふれ合い *反
抗とわがまま *はじめての園生
活 *子供と性の問題 *子供の
しつけ論 *共稼ぎとお母さん
*子供のけんか *父親の子そだ
て論 *いま、家庭に求められる
こと……その他、各種のファイル
(録画)があります。

くわしくは、中央公民館内・生
涯教育奨励室(二一・二二)へ。
です。 会長 相馬アヤ子



郷土史年表

(49)

西 暦	年 号	事 項
一九二七	昭和二	○鷹巣小学校 校章制定す。 (図案者 訓導 島山 忠 氏) ○七月二十四日 作家 芥川龍之介服 毒自殺 ○八月六日 政府、銀行の合同促進の 通達を発す。これ以後銀行合同相つづ ○八月 観音堂岱分校に電灯がつく ○九月二十五日 普通選挙制による県 会議員選挙を行う(定員三十四名) 成田重太郎氏当选 ○十月一日 綴子婦人会が小学校で託 児所開設(収容児約百名) ○十一月二日 小摩当分校開設 ○十二月二十六日 綴子小学校で雨天 体操場及び四教室増築落成 ○鷹小では柔剣道、坊沢小では野球が 各地で優勝、意気あがる ○一月 鷹巣農林学校同窓会結成 ○二月十日 鷹巣女子青年団創立 ○二月二十八日 鯉沼巖(東京府出身) 本県知事任命 ○四月 綴子村役場に電話開通 ○秋北新聞社に夜間中学開設 ○ラジオ体操開始 ○算数教科書にメートル法採用 ○四月二十二日 午前八時四十分、脇 神大火、役場、駐在所、民家十四戸焼 失、罹災児童二十四名 ○五月 七座神社 新社殿を造営す ○六月四日 関東軍参謀ら張作霖を列 車乗車のまま爆破す ○七月三日 内務省に特別高等警察課 設置 (次号へつづく)



おばあちゃんわたしは、こち
よましごっこをしてあそびます。
そのほかにも、あっちむいてホイ
をします。あっちむいてホイは、
かんぜんにわたしがちます。
そうすると、また、おばあちゃん
はこちよましてきます。首のと

わたしのおばあちゃん



南小学校 2 年

長 岐 桂

ころから、手をつつこんでくるの
で、セーターがのびてしまっけど
おもしろいおばあちゃんです。



掛 泥 村 上 純 一 (61)

商店のマナー

一昨年
と昨年の
二年続き
の異常気
象による
冷害で、
地域の経済状態は著しく窮地に落
ち込み、消費能力が減退の傾向に
あり、商店としてもその対策に苦
慮していると思います。
また多種多様な数ある店舗のな
かで、いかにして消費増に努力す
べきかががられます。客に対

する対策も再認識されつつありサ
ービスの必要性が検討されている
と思います。商店は、自からその
努力に懸命でなければなりません。
最近では、大型消費店の進出によ
って地方の小売店が強い圧迫をう
け、倒産の破めに至っており、そ
れに対抗するにはより以上に運用
面について検討が必要とされてい
ます。
以上のように時代の変動に対応
するには、自から店舗の充実を図
り従事者に対する認識を新たに
して指導強化に努め、客に対する扱
いを再考すべきだと思います。私
がつねに感じていることですが、▽売
る方、買う方共に感謝の気持がほ
しい。▽無愛想な店員等が確かに
見受けられますが、自からをたえ

みんな の広場



ま さ き

海岸地方に自生するが、
広く栽培もされている。

生垣に多く見られる。

(理科センター・阿部達雄先生)

広報ののり

手もとを明るく 日本人の三
ガネ族といわれますが、近視は早
い子で七、八歳から始まります。
そこで、勉強の時はもちろん、
マンガの本を読んだり、模型飛行

ず研鑽し客に対する触れ合いを大
切にして、人情ある売り方であつ
てほしい。▽一般的に「買ってや
るのだ」というお客の態度が強い
といわれているが、相互の理解と
納得のいく解決の道を開くことに
努力すべきである。▽両者とも互い
に「心を開き温情を持って迫るこ
と」が必要だと思っています。

このような相互の触れ合いがい
かに大切であるか、深くうかがわ
れてなりません。晴れやかなあい
さつ、礼儀は明るい社会を築き、
とかく個人的感情からのトラブル
もなくなると思われます。青少年
の非行にも関係があるかと思いま
すが、家族内においても良き雰囲
気をつくるのが、極めて大切で
あると考えます。

機を作るときのにも、スタン
ドを使つて手もとを明るくする習
慣をつけましょう。
二十ワットのけいこう燈スタン
ドか百ワットの電球のスタンドを
机に置くと、スタンドを中心に机
の約半分で五百ルクスの明るさが
得られますが、勉強や読書には最
低五百ルクスは必要です。十ワツ

トだと、スタンドの真下でも本一
冊の範囲がせいはいっぱいです。
けいこう燈と電球はおのおの一
長一短がありますが、子供の学習
スタンドとして使うのなら、まぶ
しさを余り感じなく、均一の明る
さが得られるけいこう燈の方がよ
いだろうというのが、眼科医の意
見です。

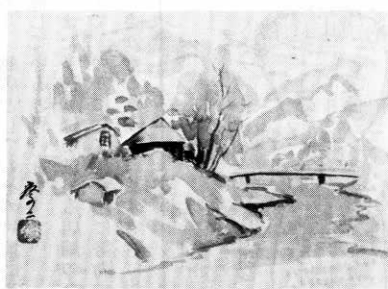
たかのす文芸

目が見えない

西小学校六年 佐藤 法子

目が見えない
どんなにおそろしいことだろうか
私が悪ふざけをして目をつぶり
階段を歩く
こわくてやつぱり目をひらく
目のみえないということとは
どんなにこわいことだろう
どんなにおそろしいことだろうか
どんなに勇気のいることだろうか
どんなに努力のいることだろうか
どんなに……..
その人達は
どんなに 私達のやさしさを
求めているだろうか
みんな
みんな
同じ人間なんだ

おしらせ



一級美術会運営委員 九島登二氏

三月の健康相談

三月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十日と二十四日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

フッ素イオンむし歯予防は、三日です。

時間は、午前十時から午後三時まで。対象者は満三歳以上の幼児で、おいでの際は母子手帳を忘れないでください。

妊婦健康相談は、一日と十五日です。時間は、午前九時から午後三時まで。

まで。おいでの際は母子手帳を忘れないでください。

また、今月の母親学級は、沐浴指導と分娩および産後の注意について。時間は、午前十時から十一時まで。

※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

◇

乳児健康相談は、十八日と五十六年十一月生まれとなっています。受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

◇

離乳食実習指導は、十八日と五十六年八月生まれとなっています。受付時間は、午前九時三十分から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◇

三歳児健康相談は、▽十一日と五十四年一月、二月生まれ。▽十六日と未受診者となっています。受付時間は、午後零時三十分から一時まで。おいでの際は母子手帳を忘れないでください。※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

◇

一歳六カ月児健康相談は、四日と五十五年二月から七月生まれの未受診者となっています。受付時間は、午後一時から一時半まで、中央公民館ホールです。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐた

め、保健婦（助産婦）による妊婦訪問を行います。

三月は、▽五日▽沢口、七日市地区。▽十二日▽栄・坊沢地区。▽二十六日▽綴子地区。

時間は、午前九時から午後四時までとなっています。

停電のお知らせ

三月の作業停電は、次の地区です。

▽12日▽旧住吉町、北小路、大町の一部。▽19日▽田中、相善町。▽26日▽小ヶ田、大向（午前九時から午後一時まで）。▽29日▽旭町第一木材付近。※時間は、26日を除き午前九時から正午まで。

農耕用軽油の

免税証を交付

五十七年の農耕用に使用する軽油の免税証を、三月十八日午前十時から午後三時まで、役場三階第一会議室で交付いたします。おいでの際は、次の関係書類をご持参ください。

◆新規申請者 ①農耕用機械の所有証明書 ②耕作面積の証明書

③申請者の印鑑

◆継続申請者 ①免税軽油使用者証 ②耕作面積の証明書 ③申請者の印鑑 ④免税軽油使用者証の有効期限が切れている場合

や、農耕用機械に変更がある場合

合は新規扱い（この場合、旧使用者証は返納）

なお、前年に二百リットルを超える免税証の交付を受けている方は、その引き取りに係る納品書（写）、または石油販売店からの証明書が必要で

す。その他、くわしいことについては北秋田県税事務所（電話 大館四九二二二一）か、役場税務課にお問い合わせください。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。あけぼの町成田年男さんから亡母フヨさんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽前山野呂重光さんから亡母口クさんの香典返し

五〇、〇〇〇円

▽住吉町岩川幹夫さんから亡父作右衛門さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽田中三沢サトさんから亡夫隆三さんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽湯ノ岱藤原竹松さんから亡長男建雄さんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽藤株庄司太力郎さんから亡母間瀬トキさんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽新田中金沢勝己さんから亡三男英樹さんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽綴子下町斎藤久一郎さんから亡父佐一郎さんの香典返し
二〇、〇〇〇円



2月1日～2月15日
誕生おめでとうございます

佐藤 大成（篤志 長男） 材木町
三日田吉栄（吉典 長男） 米代町
布田 信哉（忠雄 三男） 品類
久留嶋 優（浩幸 長男） 舟場
三沢 廣祐（廣志 長男） 新舟見町
宮腰 耕里（文義 長男） 品類
村上 幸子（文秋 長女） 掛泥
九嶋 円（富美男 二女） 舟場

二人の前途を祝福いたします

嶺 脇 一 男 松葉町
松 橋 和 子 松葉町
関 竹 継 七日市
武 石 朋 子 森吉町

おくりやみ申しあげます

齊藤佐一郎（80歳） 綴子町
金谷 由蔵（72歳） 前野
金沢 英樹（24歳） 新田中
成田 春美（67歳） 今泉
佐藤 与吉（79歳） 綴子町
成田連太郎（83歳） 大町
佐藤 ミエ（41歳） 旭町
斎藤 ソヨ（79歳） 田子ヶ沢
花田長四郎（80歳） 脇 神
藤田 キヨ（80歳） 黒 沢
太田 音吉（76歳） 糠 沢